

## 平成30年度「みえの現場 “やっぱし” すごいやんかトーク」(伊勢市)の概要

平成30年10月18日(木)皇學館大学(伊勢市)にて「みえの現場 “やっぱし” すごいやんかトーク」を開催しました。

当日は、「皇學館大学駅伝競走部」の皆さんから、10月8日に開催された出雲全日本大学選抜駅伝競走大会(出雲駅伝)や、昨年の全日本大学駅伝対校選手権大会(全日本駅伝)に初出場した感想、11月4日に開催される第50回全日本駅伝に向けた意気込みについてお話を伺いました。



### 【参加者からの発言】

自己紹介、団体の活動概要の紹介の後、知事とフリートークを行いました。

**Q** 10月8日に開催された出雲全日本大学選抜駅伝競走大会(出雲駅伝)や昨年の全日本大学駅伝対校選手権大会(全日本駅伝)に出場され、大会の感想や印象に残っていることを聞かせてください。

○昨年の全日本駅伝では、アンカーとして皇学館大学の前を走りましたが、伊勢市内に入ってから地元の応援はすごかったです。人生で初めての大きな応援であり、いい経験をさせていただきました。

○両方の駅伝を走って印象に残ったのは、沿道の応援が走る自分の背中を押してくれたことです。きついところで「皇學館ガンバレ!」と声を掛けられ、普段では出ない力も出すことができました。

- 全日本駅伝は、子どもの頃から応援していました。今回、出身地の四日市市内を走ることができ、地元の人たちが応援してくれたので普段以上の力を出すことができました。また、地元で応援されるなか、兄にタスキをつなぐことができ、良い思い出となりました。
- 初出場の大会で、一区の選手として最初の一步を踏み出せたことが嬉しかったです。三重県で強くしてもらったので、陸上で三重県に恩返しがしたいと思います。
- 全日本駅伝では、兄弟でタスキリレーができ、これ以上ない幸せでした。また、私の走ったコースは母校や出身地があり、沿道で後輩が横断幕を掲げて応援してくれて涙が出そうになりました。一番の思い出になる駅伝です。また、出雲駅伝では補欠で、更に弟の付添ということで悔しい気持ちもありましたが、それでも役割を全うすることを心に決めてやりました。
- 選手たちは、今年のインターハイの審判を1週間経験しました。その経験は、また次の応援者にもつながっていくことと思います。
- 10月8日の出雲駅伝は、台風の影響で会場に到着することが大変だったのですが、選手は大会でそうしたことを口実にすることはしませんでした。出雲駅伝は補欠選手が行う5千メートルの記録会もありましたが、関西の学生にも引けを取らない走りを見せました。これは10人の選手全てが同じ日にピークを合わせられたということです。これで全日本駅伝は大丈夫だと思いました。

**Q 11月4日に開催される第50回全日本駅伝に向けた意気込みを聞かせてください。**

- 悔しさをばねに昨年を上回り、チームに貢献し納得できる結果を出したいです。
- チームの目標達成のため、ベストを尽くして走ることで、貢献したいです。
- チームとして昨年以上の成績を残したいです。個人としても昨年から上回る走りが出たいです。
- 支えてくれた人に感謝されるように、また、支えてくれた人に恩返しする走りが出たいです。
- 立命館大学を倒して、関東も1校倒して上位に上がるようにしたいです。
- 昨年は兄弟で走ることが不安すぎたのか、試合後母が涙を流しましたが、今年は不安なく力強い走りで、自分たちを見て嬉し泣きをしてもらいたいです。
- チームとしては、昨年の17位以上の15位を狙っていきたいです。チーム一丸となって、沿道の応援に応える走りをしっかりしていきたいです。
- 5時間25分台の記録を出せるのではないかと考えています。その可能性は、かなり増したと思っており、きっと達成すると思っています。

#### **【知事の発言】**

- 今年はインターハイがありました。2021年には、三重とこわか国体、三重とこわか大会があります。三重県はスポーツを通じて、「県を元気にしていこう」、「盛

り上げていこう」としています。その大事なコンテンツの一つが、皆さんの全日本駅伝だと思っています。

○2021年に向けてアスリートが頑張れるように、皆さんを見た少年少女たちが、次の夢、希望をもって頑張ってもらえるような走りを期待しています。

○地元の大学が、地元の皆さんの応援を受けながら走れる経験は、なかなか無いと思いますので、喜びと感謝を持ちながら頑張ってもらいたいです。三重県こそって応援しますので期待をしています。



#### 「皇學館大学駅伝競走部」

2008年に創部。2011年9月、多くの実績を持つ日比監督を指導者として迎え、2017年には悲願の全日本大学駅伝対校選手権大会初出場（全日本駅伝）を果たすとともに、2018年10月の出雲全日本大学選抜駅伝競走大会（出雲駅伝）にも初出場し、最後まで粘り強い走りで14位に食い込みました。

本年11月4日には、名古屋市の熱田神宮西門前から伊勢市の伊勢神宮内宮宇治橋前までを走る、全日本大学駅伝対校選手権大会第50回記念大会に挑みます。